

## 報 告 書

土木警察常任委員会は、令和7年8月7日（木）から8日（金）にかけて、沖縄県において県外視察調査を実施しましたので、その概要を別紙のとおり報告します。

令和7年9月3日

福井県議会議長  
宮本 俊 様

土木警察常任委員会  
委員長 兼井 大

## 土木警察常任委員会 視察調査 概要

1 観察年月日 令和7年8月7日（木）～8日（金）  
日程は別紙のとおり

2 出席者 別紙のとおり

### 3 観察内容

(1) みやこ下地島空港ターミナル、ビジネスジェットターミナル  
[8月7日（木）14：30～16：00]  
施設の視察を行いながら、質疑応答を行った。（質疑概要は別紙のとおり）

説明者：下地島エアポートマネジメント株式会社  
代表取締役社長 鶴見 弘一様  
航空営業部 課長 脇坂 知宏様  
航空営業部 主任 下田 拓海様

### (2) 宮古島警察署

[8月8日（金）9：00～10：00]  
資料に基づき説明を受け、質疑応答を行った。（質疑概要は別紙のとおり）  
○「交流人口増加に伴う警察の課題について」  
説明者：宮古島警察署 警務課長 外間 大志様

## 福井県議会 土木警察常任委員会 県外視察調査日程

実施日 令和7年8月7日（木）～8日（金）

日	時 間	行 程
8月7日（木）	6：36 ～ 13：10	移動 (新幹線つるぎ1号 敦賀行【福井6:36発⇒敦賀6:57着】) (特急サンダーバード2号【敦賀7:05発⇒大阪8:34着】) (JR東海道山陽本線新快速姫路行【大阪8:39発⇒三ノ宮9:01着】) (ポートアイランド線 神戸空港行【三宮9:11発⇒神戸空港9:30着】) (スカイマーク163下地島空港行【神戸10:40発⇒下地島13:10着】)
		«昼食：下地島空港内»
	14：30 ～ 16：00	みやこ下地島空港ターミナル（沖縄県宮古島市） 沖縄県宮古島市伊良部佐和田1727 「概要説明・現地視察」 ・みやこ下地島空港ターミナル、ビジネスジェットターミナル
		移動（ジャンボタクシー30分）
	18：00	宮古島市内《夕食》《宿泊》
8月8日（金）	8：40	《宿泊先出発》
		移動（ジャンボタクシー10分）
	9：00 ～ 10：00	宮古島警察署（沖縄県宮古島市） 宮古島市平良西里1092-1 「概要説明」 ・交流人口増加に伴う警察の課題について
		移動（ジャンボタクシー10分）
	12：25 ～ 19：59	移動 (ANA1724【宮古12:25発⇒那覇13:20着】) (ANAH0766【沖縄14:00発⇒伊丹16:00着】) (バス伊丹空港線新大阪行【大阪空港17:05発⇒新大阪17:30着】) (特急サンダーバード41号【新大阪18:14発⇒敦賀19:31着】) (新幹線つるぎ42号【敦賀19:39発⇒福井19:59着】) «夕食：サンダーバード内»

## 土木警察常任委員会 県外視察調査出席者名簿

【派遣委員】	(氏名)	(期別)
委員長	兼井 大	2期
副委員長	時田 和一良	1期
委員	大森 哲男	5期
//	小堀 友廣	3期
//	野田 哲生	2期
//	山浦 光一郎	2期
//	大和 久米登	1期
//	山岸 みつる	1期

(委員 計 8名)

### 【議会局】

議事調査課	主任	青木 千香
//	企画主査	高橋 康代

(議会局 計 2名)

(合計 10名)

# 土木警察常任委員会 県外視察 質疑概要等

## 1. みやこ下地島空港ターミナル、ビジネスジェットターミナル

### I 説明概要(現地視察含む)

#### [みやこ下地島空港ターミナル]

下地島空港は、昭和54年に民間ジェット機のパイロット訓練空港として開業。シミュレータ技術の発達により実機訓練のニーズが減少傾向にあり、パイロット訓練飛行場としての機能と一般旅客が使用できる空港として、平成31年3月にみやこ下地島空港ターミナルが開業した。国内線は、羽田、神戸、那覇、福岡（期間限定）の4路線、国際線は、韓国、香港の2路線が就航しており、8月中旬に国際線3路線目である台湾の就航が始まる。

旅客ターミナルは、コンセプトを「空港から、リゾート、はじまる。」に定め、豊かな緑や自然の光を取り込み、空港に到着した瞬間から、宮古諸島を離れる航空機へ搭乗する直前まで、リゾート体験を感じてもらえるよう、利用者がくつろげる空間を目指してつくられている。

- 施設全体

風が通るつくりを基本とし、直射日光をさけるためにひさしも深くしている。ガラス張りの空間が多いので、台風のときは、防風カーテンを設置して施設全体を覆う仕組みになっている。

- 保安検査場通過後のエリア

水盤エリアが広がっており、水上ラウンジがある。水盤エリアの中心にあるフォトスポットにはシーサーが置かれており、空港と思えないほどのリゾート感がある。

- 国内線出発エリア

搭乗口を出ると雨天時用に赤、緑、黄色などの色がついた傘が用意されている。雨の時に旅客者が使うと、エプロンに虹が咲いたようできれいのこと。雷の時は、使い捨てのレインコートを配布しており、空港での雨も宮古島旅行のよい思い出になるよう工夫している。

- ボーディングブリッジについて

飛行機を降りた瞬間からリゾートを感じてほしい。宮古島の暑さや湿気を

感じながら、エプロンを歩く非日常体験をしてほしいというねらいから、飛行機を降りる際に一般的な空港で利用するボーディングブリッジを使っていない。

- ・ 到着時の空港入口

空港の入口手前には、宮古島の木々が植樹された庭園があり、ジャングル感がある。南国の樹木を見ながら空港に入ることで、宮古島に来た実感ができる。

- ・ 屋根

空港ターミナルとして全国で初めて、断熱効果の高いC L T(直交集成板：板の方向が層ごとに直交するように重ねて接着した大判のパネル)を屋根の構造材に採用している。日本産の杉材を使用している。

- ・ 滑走路

那覇空港と同じ全長3000メートルで、ジャンボ機等の大型の飛行機も受け入れ可能。宮古空港は2000メートル。航空機をエプロンに斜めに停めてあるのが特徴。真っすぐのほうが効率的な停め方であるが、飛行機は自走によるバックができないため、離陸時には特殊車両(トーイングカー)を使ってバックさせる必要がある。下地島空港はエプロンに十分なスペースがあるため、斜めのまま停めておき、離陸時にはトーイングカーを利用せず滑走路まで自走できる状況である。

- ・ 駐車場

宮古島の観光はレンタカーが中心なので、到着口からアクセスの良い空港正面にレンタカー用駐車場を整備している。バス、タクシー乗り場も旅客ターミナル周辺に整備をしており、観光客にとって使い勝手の良さを追求している。

- ・ チェックイン棟

チェックインカウンターがある。通常の空港だと月額で場所を貸すことが多いが、少ない初期投資で新規就航を検討しやすい環境をつくる狙いから、旅客1名あたりの従量課金制とし、空港運営会社と航空会社がリスクシェアする形となっている。

## [ビジネスジェットターミナル]

プライベートジェットの専用ターミナルであり、旅客ターミナルとは直線距離で 500 メートルほど離れた場所にある。専用の税関、出入国管理、検疫施設があり、出入国手続を本専用ターミナル内で行えるようになったため、プライバシーが重要視された空間となっている。ラウンジスペース、仮眠室、トイレ、キッチン、シャワー室、保税蔵置場、車寄せスペース、専用駐車場などがある。

## II 質疑応答

○委員 空港を地域の方に開いているようなイベントはあるか。

○代表取締役社長 例年では 11 月に空の日イベント、3 月に周年祭、夏休みには絵画コンクールをしている。周年祭には空港関係者を中心とした出店やキッチンカーが出て、地元の子供たちによる三線教室、民謡教室などの発表会がある。

○委員 地元の人の日常的な利用はあるか。

○代表取締役社長 送り迎えのついでに地元の人が来ることや、買い物や飲食を目的に利用されることもあると思われる。

○委員 地元から空港があることで困っているという意見はあるか。

○代表取締役社長 地元の方にとっても便利なものとなっているし、地域活性化にもつながっているので悪評はあまりない。一定の地元雇用もしている。

○委員 展望デッキはあるか。

○代表取締役社長 要望はあるが、設置していない。

○委員 災害協定はあるか。

○代表取締役社長 協定までは結んでいない。ターミナルは、海拔 3 メートルである。令和 6 年 4 月の台湾大地震で 3 メートルの津波警報が出たときは、朝 9 時で旅客がいなかつたので、避難訓練と同じように一時避難場所に避難

できた。混雑時に発生した場合のパニックを想定した準備をするには、行政の厚いサポートが必要となると考えており、行政に要望している。

○委員 台湾有事への対応を伺う。

○代表取締役社長 国民保護法に基づいた図上訓練を実施している。

○委員 ビジネスジェットターミナルはどれくらい利用があるのか。利用者はどのような方か。

○代表取締役社長 毎月数件の利用がある。海外・国内共に富裕層が多い。

○委員 ビジネスジェットターミナルの利用料金はどれくらいか。

○航空営業部課長 国内線は、片道10万円、国際線は、片道27万5千円。

○委員 他の空港のビジネスジェットターミナルと競合しないのか。

○航空営業部課長 同じような施設は多くないが、鹿児島、羽田、北海道にある。似ているのは北海道だが、北海道はスノーリゾートを望まれる方が行くので競合しない。

## 2. 宮古島警察署

### 交流人口増加に伴う警察の課題について

#### I 説明概要

宮古島警察署の管轄は、宮古島、伊良部島、多良間島などで、交番は1つ、駐在所は8つ、2空港に警備派出所がある。

宮古島は、沖縄本島から300キロメートル、飛行機で1時間の距離にある。本島－宮古島間は、東京－名古屋間くらいの距離感である。島民は5万6千人で推移しているが、住民票を移動しない人も多いので、この数より大分多い人が住んでいる。主要産業は、サトウキビなどの農水産業と観光業である。

- ・ 刑法犯

特殊詐欺は令和7年5月末で5件と深刻であり、警察官を語るオレオレ詐欺が多い。

自転車の盗難、空き巣が増加傾向にあるため、自転車の二重ロック、家の鍵かけの広報啓発を行っている。

薬物は大麻所持の検挙が多く、観光客やリゾートバイトの形で来島した人の検挙が増えている。

反社会的勢力の方が入っているという情報があるので、犯罪につながらないよう情報収集を強化している。

- ・ 観光客の状況

コロナ禍明け以降、右肩上がりに増え、令和6年に過去最高を記録している。宮古空港1日50便、下地島空港1日12便程度となっており、航空機を利用していく観光客が多い。下地島空港の利用者が増えており、今後、韓国、中国、台湾からの観光客増加が予想される。海外からのクルーズ船も寄港しており、こちらは日帰りの観光客となっている。

- ・ 交通事故の発生状況

令和7年6月末時点で1,395件、前年同期235件増である。レンタカー絡みの事故は755件（前年同期比約200件増）、レンタカー絡み以外の事故は640件（ほぼ横ばい）であることから事故増加の原因がレンタカーということがわかる。レンタカー事故の当事者は20～30代が多く、外国人は4割程度である。駐車場など狭い場所での単独事故が多く、人身事故は増えていない。

街頭パトロール、高齢者の交通安全教育、レンタカー事業者に対する交通安全指導を行っており、飲酒運転、信号無視、歩行者の安全を脅かす違反を重点的に取り締まっている。

- ・ レンタカーの事故

下地島空港に韓国定期便が就航したため、韓国人の事故が令和5年37件、令和6年227人と増加している。日本語と韓国語でチラシを作り配布、インスタグラム、宮古空港の大型ビジョン、宮古空港の手荷物レーンの交通安全を呼びかける案内板設置での啓発を行っている。

令和7年度は、下地島空港に香港、台湾からの直行便も就航するので、韓国語以外のチラシ作成などを検討していく。

- ・ 水難事故

水難事故は、増加傾向にある。令和6年は30件で過去最多の発生数だった。10名死亡のうち7名が観光客だった。過去発生件数をみても観光客の割合が多い。シュノーケリング中にライフジャケットを着用していない人の事故が多いことが判明したので、対策としてシュノーケル販売店にライフジャケットのセット販売を呼びかけている。また、警察署で水難事故防止の動画を作成し、インスタグラムやタクシーに設置してあるタブレットで流している。観光協会、海上保安庁とも連携してライフジャケット着用の呼びかけを行っている。

- ・ 路上寝

宮古島の特有の問題として、酔っぱらった人が路上で寝てしまう「路上寝」の問題がある。令和6年の路上寝は857件でコロナ禍以降どんどん増えている。夏になると急増し、コンビニの駐車場、住宅の敷地内、歩道、車道など、いろいろな場所で、性別に関係なく、観光客も寝ている。道路の曲がり角、道路に頭を出して寝ている場合は、車から見えにくく非常に危険である。警察署の前に路上寝カウンターがあり「本日の路上寝〇件」と書いて本気で取り組んでおり、事故を防ぐための普及啓発をしている。

## II 質疑応答

○委員　　日本人観光客の事故も増えているのか。

○警務課長　　日本人の事故も増えている。観光客の事故のうち外国人の割合は4割。

○委員　　下地島空港の就航関係で韓国人の割合が多いのか。

○警務課長　　そのとおりである。令和6年は韓国便しか就航していなかった。

○委員　　外国人の分母が増えると事故も増えると予想されるか。

○警務課長　　これから就航する香港、台湾の方の事故も増えると思う。

○委員　　台湾有事における警察の対応について伺う。

○警務課長 台湾、尖閣の辺りは、中国籍の船が常にいる。有事の時は警備担当が対応する。自治体と連携して避難誘導を行っていく。

○委員 ライフジャケットの啓発について、福井県では川での鮎釣りで毎年何人も流されているが、ライフジャケットの義務化はできない。啓発を始めたばかりかもしれないが、手応えや効果などがあれば伺いたい。

○警察 ライフジャケットとシュノーケルのセット販売は始めたばかりだが、量販店からの感触はよい。シュノーケルの使い方がわからず、水を飲んでパニックになり溺れている可能性があるので、ライフジャケットを着けていれば、事故が少なくなるのではないかと思う。セット販売の流れができるのを期待している。

○委員 海辺、空港周辺、繁華街のパトロール状況と観光客の検挙率を伺う。

○警務課長 多いときで10台以上のパトカーでパトロールをしている。観光客の検挙率が極めて高いということはない。

○委員 県外ナンバーの車を見かけたがフェリーがあるのか。

○警務課長 フェリーはあるが人は乗れない。

○委員 警察官の採用は地元の人が多いか。

○警務課長 地元の方が多いが、進学で沖縄に来た人、ゆかりがない人もいる。申込みは非常に減っているので、高校生をインターンシップで招いたり、日程を延ばしたり、海保、自衛隊、消防隊との合同説明会を行って人材を確保している。

○警務課長 宮古島まもる君は何がきっかけなのか。グッズの販売は警察の収益になっているのか。

○警務課長 何がきっかけで設置したのかよく分かっていない。流行したので増やして20体になっている。交通安全協会の収益となっており、各種交通安全活動に使われている。

## 土木警察常任委員会県外視察（説明会場：みやこ下地島空港ターミナル）



## 土木警察常任委員会県外視察（説明会場：宮古島警察署）

